

## 国立療養所多磨全生園入所者自治会から東村山市に対する寄附面会

日時：平成25年12月12日（木）

午前10時00分～10時30分

会場：国立療養所多磨全生園

### ●寄附

200万円

### ●寄附の主旨

多磨全生園入所者自治会は、多磨全生園の歴史・人権の歴史を後世に伝えるため、園内の豊かな緑や史跡・建造物を保全する「人権の森構想」を提唱しています。また、多磨全生園には、園内の豊かな緑や国立ハンセン病資料館などを中心に年間3万人以上が訪れています。

東村山市は、平成22年度に全戸配付されております「人権の森：多磨全生園を歩く」を作成致しましたが、以前に同じく入所者自治会様からいただきました寄附金を活用させていただき、現在も問い合わせがあるほど好評をいただいています。また、資料館のお話ではマップをご覧になって足をお運びいただく方も増えているとのことでございます。

平成24年度の啓発事業として、人権の森オリジナルシンボルマークの作成や全生園の自然の素晴らしさ、またその根底にある負の歴史を風化させることなく伝えるためのポスター等を作成し、全国の療養所や市内公共施設、都内の小中学校などへ配付したところでございます。

今年度は、多磨全生園の命の営みを伝えるDVDの制作を開始しております。歴史や自然だけでなく、今を生きる入所者の方々や全生園に関わる人々にご登場いただき、皆様の生き様を通して、ご覧いただく方に全生園の姿を深く感じていただけるような内容になるよう進めているところでございます。

このような啓発の支援をさせていただいておりますことにつきましては、日頃から入所者自治会様にも多大なる評価をいただき、感謝のお言葉を頂戴しております。

この度、「市の人権の森構想推進基金に積み立て、人権啓発や多磨全生園人権の森構想の実現に向けた活動に役立ててほしい」とのありがたいお申し出をいただき、平成25年12月12日、多磨全生園入所者自治会の佐川修会長から東村山市渡部尚市長へ200万円の寄附が送られることとなりました。

市は今後も引き続き、人権の森構想推進基金を活用し、人権啓発や多磨全生園人権の森構想の実現に向けたPR等の諸活動に役立てていきます。

東村山市 経営政策部 企画政策課